

こどもオレンジページ「たべものペーパー」で夢のお弁当づくり 農林水産省「こども霞が関見学デー」で親子向けワークショップを実施

株式会社オレンジページ(東京都港区)は、2026 年 7 月 29 日(水)・30 日(木)に開催された「こども霞が関見学デー」において、農林水産省「食と農林水産業の持続ナビリティについて知ろう!」ブースに、あふの環プロジェクトメンバーとして出展協力しました。当日は、親子の食とくらしをテーマにしたムック『こどもオレンジページ』の人気付録「ワクワクたべものペーパー」を活用した親子向けワークショップを実施し、2 日間で約 130 人の子どもたちが参加しました。

※「あふの環プロジェクト」:持続可能な生産・消費を広めるため、農林水産省が推進するプロジェクト。企業・団体等のメンバーとともに、食や農林水産業の持続ナビリティに関する取組を発信しています。



食と環境について楽しく学べる体験型ワークショップ

本企画では、工作の楽しさに加え、食や環境について親子で考えるきっかけをつくることを目指しました。参加者は、まず「誰と食べたいか」「どこで食べたいか」「どんなお弁当にしたいか」をワークシートで考えます。その後、食べものの写真を印刷した「たべものペーパー」を丸めたり、ちぎったり、ねじったりしながら

ら、おにぎりやエビフライ、野菜などを制作。完成した作品を環境配慮型素材「バガス(サトウキビの搾りかす)」を使用したお弁当箱(株式会社折兼／株式会社パックススタイル提供)に詰めます。最後に、農林水産省の環境負荷低減の取組を伝える「みえるらべる」シールを貼って完成。「考える」「つくる」「仕上げる」という一連の体験を通して、食や環境への関心を育むプログラムとしました。



① イメージを考える



② たべものペーパーでお弁当を制作



③ 「みえるらべる」シールを貼って完成！

約 130 人の子どもたちが参加。自由な発想を引き出すワークショップに

会場では、子どもたちが夢中になって作品づくりに取り組む姿が見られ、それぞれの好きな食べ物や食べたいシーンを表現しました。保護者へのアンケートでは、

- 「子どもが自由な発想で作ったお弁当は、大人では詰めないものばかりで、まさに“夢のお弁当箱”だと思いました」(小学 3 年生の保護者)
- 「子ども自身が考えながらお弁当を作ることができ、とても良かったです」(小学 3 年生の保護者)
- 「食べ物に興味を持ってくれるきっかけになり、うれしかったです」(小学 2 年生の保護者)

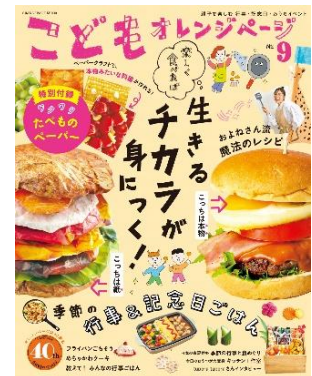
といった声が寄せられました。親子で完成したお弁当を見ながら会話を楽しんだという声もあり、工作を通して食への関心を深めるきっかけとなった様子が見られました。



■ 「こどもオレンジページ」について

「こどもオレンジページ」は、親子の食とくらしをテーマにしたメディアです。「楽しく食べれば、生きるチカラが身につく！」をコンセプトに、レシピだけでなく「実験」「文化」「世界」「からだ」など食を入り口にした多様なコンテンツを発信。未就学児～小学校低学年の子どもとその保護者を対象に、誌面・WEB・SNSのほか、イベントや商品開発などさまざまな形で親子の食体験を提案しています。

『こどもオレンジページ net』 <https://www.orangepage.net/kodomop>



「ワクワクたべものペーパー」について

今回のワークショップで使用した「ワクワクたべものペーパー」は、ムック『こどもオレンジページ』No.9 の付録として制作したコンテンツです。

詳細はこちら：

<https://www.orangepage.net/kodomop/column/203338>



【この資料に関するお問い合わせ】

株式会社オレンジページ

経営戦略室

keieikaigi@orangepage.co.jp